みやぎ『夢・復興』ジュニアスポーツパワーアップ事業

PROJECT GUIDE

MIYAGI Junior Top Athlete Academy

ホンキの子どもを、宮城のチカラに。

みやぎ『夢・復興』ジュニアスポーツパワーアップ事業

活動の背景 ～復興には地域を担う次世代の育成を～

10年後、20年後の宮城県を支える人材は、今の子どもたちです。私たちは、宮城県と協力し、子どもたちにとって身近な「スポーツ」を通じて、これからの復興を担う人材にとって必要な素養を学ぶ機会を提供しています。

人材育成の必要性

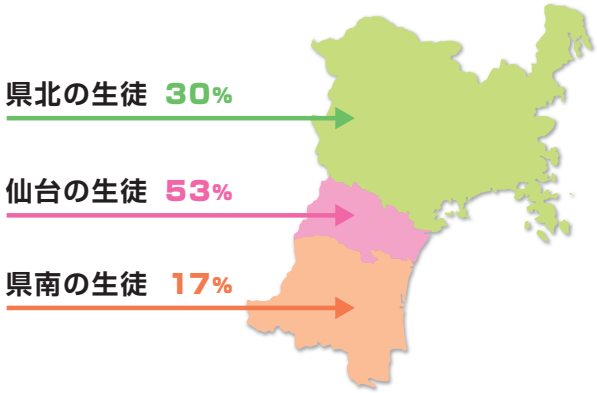
スポーツの力

- 技術の上達・試合での勝利 → 自信
- 失敗や試合での敗北 → 向上心・諦めない気持ち
- 仲間との切磋琢磨 → 協調性・リーダーシップ
- 目的を持ってトレーニング → 自己管理できる力

その他、宮城県内の小学生全体の体力向上を目指し、
運動意欲の向上や運動習慣の確立を行う活動も行います。

参加している宮城の子どもたち

この活動に参加している子どもたちは未来を担う宮城県の子どもたちです。仙台のみならず、宮城県全域の子どもたちに参加の機会が提供されています。2013年から6年間で約600人（のべ人数）の子どもたちを、未来の宮城県を担う人材として育成するため活動する予定です。



みやぎ『夢・復興』ジュニアスポーツパワーアップ事業の概要

宮城県と連携し、以下の2つのプログラムを

1 みやぎジュニアトップアスリートアカデミー

小学4～6年生各30人　年間プログラム　月1～2回

宮城県内の優れた運動能力を持つ小学4～6年生の子どもたち（アカデミー生）を対象に、未来の復興の担い手・トップアスリートの素地となる能力を伸ばすプログラムを年間を通じて実施します。

育成プログラム

●身体能力育成

様々な最先端トレーニングを体験し、未来のトップアスリートとなる素地を養う。

●知的能力開発

トップアスリートとして、また人間として成長するための生活態度、考え方、社会性などを育む。

●食育

栄養管理やトレーニング効果を高める摂取物等を学ぶ。

競技プログラム

●競技体験

様々な競技を体験し、興味や関心、各競技における基礎を習得。

●競技選択

個々の資質や能力などの適性を診断し、世界で活躍できるような競技を選択できるように支援。

以下の競技を実施しています（28競技） ※2015年度

陸上、アーチェリー、トライアスロン、山岳、ライフル射撃、自転車、ウエイトリフティング、セーリング、水泳、カヌー、バレーボール、ソフトボール、ラグビー、ボウリング、テニス、ボクシング、フェンシング、レスリング、剣道、相撲、なぎなた、銃剣道、スケート、アイスホッケー、ボブスレー・スケルトン、バドミントン、ボート、ハンドボール

2 未来を担う みやぎっ子体力向上キャンペーン

県内小学生全員　年間プログラム　半年に1回

～「未来を担うみやぎっ子」体力向上キャンペーン～の一環として、県内全ての児童が、ウェブ上でいつでも何度でもチャレンジできる「webなわ跳び広場」を開催します。この大会は、仲間と関わりながら競い合うことにより、運動意欲の向上や運動習慣の確立に役立つとともに、震災復興を担っていく子どもたちに、元気と活力を与えることにより、力強く宮城の復興を進める一助となるものです。

詳しくは、ホームページ http://miyagi-powerup.jp/strength/index.html をご覧ください。

実施することで、県内の小学生全体の体力向上とスポーツを通じた人材育成を目指しています。

●みやぎジュニアトップアスリートアカデミーのビジョン

将来オリンピックのメダリスト等のトップアスリートとして活躍できる選手に成長できるように、目標達成への考え方や身体能力を高めるトレーニングなどを学習します。その過程で心身ともにたくましい人材を育成します。

選考会を通じ 入講 → 心を鍛える / 技を伸ばす / 体力向上 → 多くの競技を体験 → 競技を選択し素養を高める → 宮城を担う人材へ

心 現状に変化を起こせるよう主体的に行動し、困難な目標にも挫けず立ち向かう気概を育む

技 28競技の体験や毎月のトレーニングを通じ、多様な身体操作能力を引き出す

体 各種トレーニングを通じ身体能力の向上、および身体的な潜在能力を開発

アスリート育成 ＋ リーダーシップ育成

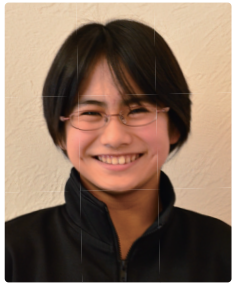
選択した競技種目を専門的に練習！上位レベルの大会出場を目指して研鑽！

スポーツの成績や、スポーツを通じた学びを周囲に還元することで宮城を元気に！

宮城の未来を、自らつくる。

僕たちが今、宮城のためにできること、
それはアスリートとして活躍すること。

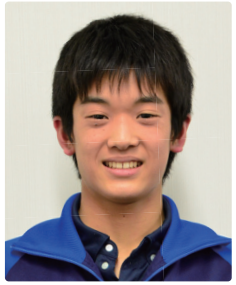
アカデミー修了生の声



山内 七海さん 〈2013年度 修了生〉

【2014年宮城県中学校総体女子100m準優勝】

アカデミーでは、他の生徒たちと切磋琢磨する中、陸上では絶対負けない!という向上心が生まれました。また、運動だけでなく、普段の行動にも意識ができるようになりました。意見をきちんと伝えること、率先して行動すること、前向きに考えてクラスをまとめることなどは学校生活でも心がけています。将来は後輩に陸上の楽しさを伝えられるようなコーチや先生のような存在になりたいです。



遠藤 拓人さん 〈2013年度 修了生〉

【平成26年度JOCエリートアカデミー第7期生に選抜】

僕は、中学校から東京の寮で生活しながら、JOCの強化選手として飛込競技の練習をしています。親元を離れる不安もありましたが、今の環境は目標に近づける場所だと思っています。アカデミーでは、僕たちがアスリートとして活躍することで宮城の復興を後押しできることを学びました。将来は、東京オリンピックで金メダルを取り、宮城県のことを発信できる力を持ち、たくさんの人の役に立ちたいです。

麦谷 祐介さん 〈2014年度 修了生〉

【東北楽天リトルシニア第1期生に選抜】

僕は今、地元プロ野球チームのジュニア選手として練習に励んでいます。アカデミーでは、トップアスリートの方から直接教えていただき、スポーツに対する考え方が変わりました。今は自分の目標を持ち、自宅での練習も欠かさずやっています。また、あいさつ·お礼といったマナーの大切さや、将来の宮城について考えるようになりました。僕は自分のことだけでなく誰かのために尽くせる、そんな大人になりたいです。

宮城の未来の力になる種を、共に育てる。

たくましく成長する子どもたちを一丸となって応援しています。

アカデミー生を支える大人たち

保護者

麦谷 佳子さん

アカデミーでは子どもたちが様々なトレーニングや競技体験の機会をいただくとともに、私たち保護者も、アスリートを目指す子どもに寄り添う心構えや必要な食事の知識について、学ばせていただきました。この経験を生かし、子どもたちがトップアスリートとして、また将来の宮城を支えるたくましい大人として成長していくことを願い、その夢を応援していきたいと思っています。

事務局担任

黒田 七恵さん

2013年度から担任として子どもたちと接してきました。子どもたちの成長はとても早く、アカデミーでの活動を見ていると、体も一回り大きくなり、とても逞しくなったなと感じます。また、トップアスリートを目指すだけでなく、自分たちが宮城県のこれからの復興を担う人になるんだという自覚も芽生えてきたようです。今後もアカデミーの活動をとおして、たくさんのことを学び、県民に夢と希望を届けながら、復興を力強く後押ししてくれることを期待しています。

プログラム監修

仙台大学
内丸 仁 准教授

トップアスリートへの道は一朝一夕で達成できるものではなく、長期スパンでの取り組みが必要となります。競技力の向上とともに、自らの心とからだを育む力など、アスリートとしてさらにはスポーツを通しリーダーとなるべく資質を身に着けることが大切です。私たちは、東北唯一の体育系大学としての使命感と専門的な知見を活かし、これらの育成方針を体系化した基本計画に基づき、様々なトレーニングプログラムを実践しながら、夢をもつ子どもたちの成長を全力でサポートします。「子どもたちのトップアスリートへの夢を一緒に応援する」この志を掲げた事業に関われることに感謝し、今後もその役割をしっかり果たしていきたいと考えます。

アカデミーを応援する著名アスリートからのメッセージ

室伏 広治選手

【2004年 アテネ五輪 陸上男子ハンマー投 金メダリスト】

人生は、いつも自分の思うように事が進むわけではありません。これはオリンピックの金メダリストも一緒で苦難の連続です。しかし、苦手なことを克服したり、自分に打ち勝つことを繰り返していくと、いつの間にか自分にとって最高の結果が返ってきます。子ども達には、スポーツを通じて、自らの限界にチャレンジするとともに、スポーツの素晴らしさを多くの方に伝えていける大人になっていってもらいたい思います。

溝江 香澄選手

【2010年 世界選手権 ソフトボール 銀メダリスト】

私はアカデミーに参加している生徒を見て、練習に取り組む姿勢の素晴らしさを感じました。スポーツ選手が一生懸命に頑張る姿は、見ている人を感動させたり、勇気づけたりする力を持っています。アカデミーの生徒には、自分が立てた目標に向けてコツコツと努力を重ね、クリアして行く粘り強い選手になって欲しいです。そしてここでの体験を通じて、挨拶、礼儀、心配りがきちんとできる人間への成長を期待します。

千田 健太選手 宮城県出身

【2012年 ロンドン五輪 フェンシング競技 銀メダリスト】

フェンシング日本代表の千田健太です。アカデミーではアスリートとして、また未来のリーダーとして、多くの事を学べると思います。宮城県出身の子ども達が、様々なスポーツにチャレンジする事で広がっていく、人間の可能性の素晴らしさを感じ取って欲しいと思います。また、この事業に携わる全てのスタッフ、同世代の仲間に、感謝と敬意を持って、将来、多岐にわたる分野で活躍してくれる事を期待します。

ご寄付によりできること

皆さまからのご寄付により、アカデミーに参加する子どもたちへ、おおよそ以下のような支援が提供できます。

1万円で	アカデミー生2人が、 1泊2日の合宿に参加することができます。	**10万円で**	アカデミー生1人が、 28種目の競技体験に1年間参加できます。
3万円で	アカデミー生1人が、基礎トレーニングや 食育プログラムなどに1年間参加できます。	**50万円で**	全アカデミー生が1年間安全に 受講するための保険に加入できます。

10万円以上のご寄付をいただいた方は、当財団のホームページでご紹介させていただきます（お名前紹介をご希望されない場合は、ご掲載いたしません）。また、各種定期報告書をお送りさせていただきます。

本事業へのご寄附について

以下の口座へ銀行振り込みにてご寄附いただけます。
いただいた寄附金は、みやぎ「夢・復興」ジュニアスポーツパワーアップ事業のため、100%役立ててまいります。

銀行名	みずほ銀行
支店名	大手町営業部（112）
口座番号	普通預金 3517405
名義	公益財団法人東日本大震災復興支援財団 （コウエキザイダンホウジンヒガシニホンダイシンサイフッコウシエンザイダン）

実施体制

主催	みやぎ「夢・復興」ジュニアスポーツパワーアップ事業実行委員会 【主な構成団体】 ○宮城県教育委員会 ○公益財団法人宮城県体育協会 ○仙台大学
協賛	公益財団法人東日本大震災復興支援財団 味の素株式会社 大塚製薬株式会社 ゼビオ株式会社 一般財団法人ユナイテッド・スポーツ・ファウンデーション